

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クリエアナブキ

コード番号 4336 URL <http://www.crie.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藏田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 上口 裕司

TEL 087-822-8898

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,596	0.3	42	738.8	42	673.2	23	—
26年3月期第1四半期	1,591	△12.4	5	△84.0	5	△82.6	1	△92.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 26百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 2百万円 (△87.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	10.30	—
26年3月期第1四半期	0.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
27年3月期第1四半期	1,759	—	788	—	44.3	336.64
26年3月期	1,692	—	769	—	45.0	329.33

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 778百万円 26年3月期 761百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	3,310	6.7	12	—	14	—	6	—	2.59
通期	6,923	9.1	77	—	80	—	47	—	20.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	2,340,000 株	26年3月期	2,340,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	27,400 株	26年3月期	27,400 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	2,312,600 株	26年3月期1Q	2,312,600 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、一部に弱い動きが見られたものの、設備投資が増加するなど、景気は緩やかな回復基調を辿りました。

人材サービス業界では、完全失業率が低下傾向で推移し、有効求人倍率が上昇するなど、雇用情勢が改善しつつあります。なお、平成26年通常国会に提出された労働者派遣法改正案が審議未了により廃案となったことから、派遣労働者を受け入れる期間の上限撤廃を柱とした派遣制度の変更は、当面先送りとなっております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、派遣市場の活性化に資する制度変更が近い将来に実施されることを前提に、それを追い風に成長を遂げるべく、強みを有する四国に経営資源を集中し、同地域での売上高・市場シェアの拡大をめざしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,596,219千円（前年同四半期比100.3%）、営業利益42,714千円（同838.8%）、経常利益42,819千円（同773.2%）、四半期純利益23,826千円（同1,870.2%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

各セグメントの営業利益の合計額は157,795千円ですが、全社費用等の調整（調整額△115,080千円）により、四半期連結財務諸表の営業利益は42,714千円となっております。

#### ① 人材派遣事業

当事業の売上高は952,635千円（前年同四半期比96.4%）、営業利益は79,757千円（同104.5%）となりました。

当社グループの主力である当事業については、平成26年4月に香川県丸亀市に支店を設置するなど、優位性を有する四国において可及的速やかに圧倒的な地位を確立すべく、同地域での営業体制の強化を進めております。前期中に期間制限がある自由化業務に係る派遣契約の満期終了が相次いだ結果、前年同四半期との対比では売上高が減少したものの、新規契約数が堅調に推移するなど、持ち直しの動きが鮮明になってきました。

#### ② アウトソーシング事業

当事業の売上高は547,254千円（前年同四半期比106.8%）、営業利益は36,469千円（同248.6%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社クリエ・ロジプラスにおいて、前年同四半期に比べ取引先数が増加したこと、主たる取引先である株式会社ディノス・セシールの出荷量が堅調に推移したことなどから、当該期の実績を上回りました。

#### ③ 人材紹介事業

当事業の売上高は39,433千円（前年同四半期比98.3%）、営業利益は30,943千円（同98.2%）となりました。

利益率が相対的に高い当事業については、中四国を中心に、幅広い層を対象とした求人の開拓、求職者の確保に努めた結果、前年同四半期とほぼ同じ水準の実績となりました。なお、東名阪の3支店においては、Uターン転職支援に力点を置くなど、これまで以上に四国を意識した戦略を展開しております。

#### ④ 再就職支援事業

当事業の売上高は23,650千円（前年同四半期比2,367.4%）、営業利益は12,758千円（前年同四半期は884千円の営業損失）となりました。

景気悪化局面で需要が急増する特性を持つ当事業については、四国を中心に地道な営業活動を展開した結果、大型案件の受注があり、前年同四半期の実績を大きく上回りました。

#### ⑤ IT関連事業

当事業の売上高は22,864千円（前年同四半期比64.0%）、営業損失は4,436千円（前年同四半期は5,455千円の営業利益）となりました。

株式会社クリエ・イルミネートが首都圏を中心に提供する研修や教材作成のサービスについては、前期に引き続き、マイクロソフト社SharePointに関する技術者向けトレーニングが人気を集めました。しかし、動画を用いた新商品の開発に向けて、時間的な制約から受託件数を抑制した結果、前年同四半期の実績を下回りました。

#### ⑥ その他

上記の各セグメントに含まれない事業の売上高は10,381千円（前年同四半期比77.2%）、営業利益は2,302千円（同103.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ66,688千円増加して1,759,358千円となりました。これは、現金及び預金の増加(694,121千円から775,432千円へ81,310千円増)、前払費用の増加(26,003千円から44,092千円へ18,089千円増)などによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前期末に比べ47,464千円増加して970,880千円となりました。これは、短期借入金の増加(26,000千円から50,000千円へ24,000千円増)、消費税率の引き上げに伴う未払消費税等の増加(48,606千円から108,214千円へ59,607千円増)などによるものであります。

なお、有利子負債の期末残高は、前期末に比べ14,134千円増加して247,302千円となりました。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前期末に比べ19,223千円増加して788,478千円となりました。これは、配当金の支払い及び四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の変動(412,396千円から429,284千円へ16,888千円増)などによるものであります。

なお、自己資本比率は、前期より0.7ポイント低下して44.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在、平成26年5月9日付当社「平成26年3月期決算短信」にて公表しました数値から変更はありません。

なお、最近の業績動向については、本資料をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	694,121	775,432
売掛金	684,706	659,711
仕掛品	279	6,125
原材料及び貯蔵品	1,181	923
前払費用	26,003	44,092
繰延税金資産	41,369	35,097
その他	3,095	2,700
貸倒引当金	△1,435	△975
流動資産合計	1,449,322	1,523,106
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,838	10,456
工具、器具及び備品(純額)	8,212	7,626
その他(純額)	163	163
有形固定資産合計	19,214	18,245
無形固定資産		
のれん	68,716	62,826
ソフトウェア	22,835	21,974
電話加入権	4,188	4,188
その他	42	17
無形固定資産合計	95,783	89,007
投資その他の資産		
投資有価証券	9,357	9,991
繰延税金資産	22,480	23,339
差入保証金	95,083	94,640
その他	1,428	1,026
投資その他の資産合計	128,350	128,998
固定資産合計	243,348	236,251
資産合計	1,692,670	1,759,358

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	26,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	39,464	39,464
未払金	71,933	75,450
未払費用	428,687	415,615
未払消費税等	48,606	108,214
未払法人税等	9,159	12,073
預り金	10,598	15,474
賞与引当金	54,292	26,016
その他	5,124	6,447
流動負債合計	693,867	748,756
固定負債		
長期借入金	167,704	157,838
退職給付に係る負債	61,844	64,285
固定負債合計	229,548	222,123
負債合計	923,415	970,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	412,396	429,284
自己株式	△6,646	△6,646
株主資本合計	761,469	778,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	162
その他の包括利益累計額合計	131	162
少数株主持分	7,654	9,958
純資産合計	769,254	788,478
負債純資産合計	1,692,670	1,759,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,591,437	1,596,219
売上原価	1,281,538	1,254,597
売上総利益	309,899	341,622
販売費及び一般管理費	304,806	298,908
営業利益	5,092	42,714
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	355	586
業務受託手数料	60	60
受取賃貸料	603	3
助成金収入	-	450
その他	33	90
営業外収益合計	1,052	1,190
営業外費用		
支払利息	606	1,085
営業外費用合計	606	1,085
経常利益	5,538	42,819
特別損失		
固定資産除却損	-	232
特別損失合計	-	232
税金等調整前四半期純利益	5,538	42,586
法人税、住民税及び事業税	1,716	11,060
法人税等調整額	1,501	5,396
法人税等合計	3,217	16,456
少数株主損益調整前四半期純利益	2,320	26,130
少数株主利益	1,046	2,304
四半期純利益	1,274	23,826



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,320	26,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	31
その他の包括利益合計	△37	31
四半期包括利益	2,282	26,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,236	23,857
少数株主に係る四半期包括利益	1,046	2,304

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	再就職支援 事業	I T関連事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	988,514	512,617	40,128	999	35,728	1,577,988	13,449	1,591,437	—	1,591,437
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	291	—	—	—	225	516	—	516	△516	—
計	988,806	512,617	40,128	999	35,953	1,578,505	13,449	1,591,954	△516	1,591,437
セグメント利益又は セグメント損失(△)	76,353	14,669	31,510	△884	5,455	127,104	2,230	129,334	△124,242	5,092

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研修・測定サービス等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△124,242千円には、セグメント間取引消去690千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△124,932千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	再就職支援 事業	I T関連事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	952,635	547,254	39,433	23,650	22,864	1,585,838	10,381	1,596,219	—	1,596,219
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	225	225	—	225	△225	—
計	952,635	547,254	39,433	23,650	23,089	1,586,063	10,381	1,596,444	△225	1,596,219
セグメント利益又は セグメント損失(△)	79,757	36,469	30,943	12,758	△4,436	155,492	2,302	157,795	△115,080	42,714

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研修・測定サービス等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△115,080千円には、セグメント間取引消去690千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115,770千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。